



国立保健医療科学院（正面から：令和3年春）



令和2年度専門課程I 保健福祉行政管理分野分割前期修了式
(令和2年7月10日 zoomによるWeb開催)



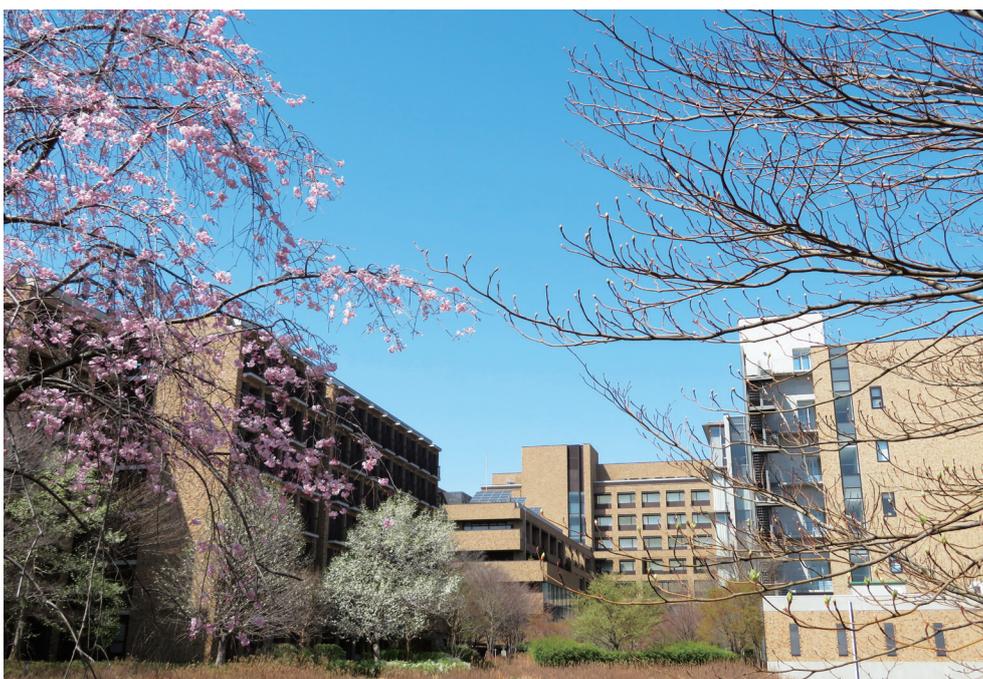
令和2年度専門課程Ⅲ 保健医療データ分析専攻科修了式
(令和3年2月26日 zoomによるWeb開催)



令和2年度専門課程Ⅲ 地域保健臨床研修専攻科修了式
(令和2年11月30日 zoomによるWeb開催)



令和2年度研究課程修了式 (令和3年3月1日)



国立保健医療科学院 (中庭から：令和3年春)

I 序

国立保健医療科学院
院長 宮寄雅則

令和2(2020)年度の国立保健医療科学院(以下、「本院」)の年報をお届けします。

本院は、保健、医療、福祉及び生活環境に関連する業務に従事している専門職員等の養成訓練を行うとともに、これらに関する調査及び研究を行っており、これらを通じて、わが国の公衆衛生の向上に寄与することを使命としています。

養成訓練は、国及び地方公共団体等において、保健医療、生活衛生及びこれらに関連する社会福祉(以下「保健医療等」)に関連する業務に従事している職員やこれから従事しようとする方々に対し、保健医療等の基本理念、実践的な専門的知識・技術、最新の情報などの修得を目的として実施しており、研究課程、専門課程の長期研修と41コースの短期研修があります。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受けましたが、修了者は研究課程2名、専門課程36名、短期研修639名となっています。

調査研究は、本院の一般予算で実施している基盤的研究と厚生労働科学研究費補助金、科学研究費助成事業、日本医療研究開発機構(AMED)補助金等の外部研究資金を獲得して実施している研究があります。令和2年度に獲得した外部資金は課題数144, 2億5500万円となっています。

令和2年は新型コロナウイルス感染症が流行・拡大した年として語り継がれると思いますが、新型コロナウイルス感染症対策をはじめとする健康危機管理を的確に実施するため、そして、保健医療福祉領域における2025年問題、2040年問題を解決していくためには、地方自治体等における専門家の養成訓練及び政策立案、実施を支援する調査研究を進めていくという、本院の役割はますます重要になっていきます。この役割を確実に果たすために、本院職員一同、力を合わせて、業務に取り組んでまいり所存です。皆様には、引き続き、ご理解及びご支援を賜りますよう、心からお願い申し上げます。